

地域コミュニティ推進計画における地域課題の取組状況一覧

資料No. 3

※計画の柱⇒ I 心の通い合う持続可能な組織づくり II 住民の安心・安全な暮らしの確保 III 住民主体による地域課題解決力の向上 IV 地域の特性を活かした魅力の維持・再発見

計画の柱※				地域	区別	地域課題	取組の例	アンケート調査から				報告書 頁番号	
I	II	III	IV					実施・ 効果有 (割合)	実施・ 効果無 (割合)	未実施 (割合)	無回答 (割合)		説明
●		●		鶴岡	単位	①地域内の環境の変化(地域課題)に気づくための場づくり	○笑顔で挨拶を交わす取組の実践 ○近隣が気軽に話し合える雰囲気や場づくり ○新しく住民になった人も気軽に参加できる事業の開催	50 +15	12	33 -15	5	「実施し、効果があった」(50%)、「実施したが、効果が無かった」(12%)と6割を超えて、実施している。 一方、「実施しなかった」が33%あったが、中には、「日頃から挨拶を交わしているの、特に取組まない」「当たり前のことなので、特に取組まない」が15%あった。	4
●				鶴岡	単位	②住民自治組織への理解促進と会員確保	○住民自治組織の存在意義や役割等を共有する機会と場づくり ○あきらめず誘い続ける声かけの実践 ○単位自治組織、関係団体、市との連携・協力によるアパート家主及び入居者等への単位自治組織加入活動の実践 ○市との連携による、転入者の住民票異動手続きの際の加入呼びかけとチラシの配布	40 +24	17	39 -24	4	「実施し、効果があった」(40%)、「実施したが、効果が無かった」(17%)と6割弱が実施している。 一方、「実施しなかった」が39%あったが、中には、「未加入者がいないため、特に取組みを行わなかった」「役員は回り番で、全戸が何らかの形で参加することになっている為、特に取組んでいない」が24%あった。	5
●				鶴岡	単位	③将来を見据えた持続可能な組織づくり	○将来を見据えた会費のあり方の検討 ○既存事業内容の見直し ○役員の負担軽減に向けた役割分担等の検討 ○単位自治組織の再編・統合等をテーマにした意見交換会の開催	36	20	40	4	「実施し、効果があった」(36%)、「実施したが、効果が無かった」(20%)と5割を超えて、実施している。 一方、40%は「実施しなかった」が、何らかの検討は必要であると考えている人が多くいた。	6
●				鶴岡	単位	④活動の新たな担い手となる人材育成・確保	○若い世代等が企画・担当する事業や若い世代等を意識した事業の開催 ○多世代参加・交流型事業の開催 ○人材育成研修事業への参加 ○女性の力の活用、女性の活躍の場の拡大 ○事業を通じて自分が必要とされている喜びや達成感・生きがいを感じる仕掛けづくり ○退職者が地域活動を始めるためのきっかけづくり	39	21	34	6	「実施し、効果があった」(39%)、「実施したが、効果が無かった」(21%)と6割の組織が何らかの対策を実施している。 一方、「実施しなかった」は34%であった。	7
	●	●		鶴岡	単位	⑤地域課題の把握と共有	○地域の現状と課題を共有するワーキングの開催 ○課題解決に取り組むための新しい事業の検討と既存事業内容の見直し	36	18	41	5	「実施し、効果があった」(36%)、「実施したが、効果が無かった」(18%)と5割を超えて、実施している。なお、「課題は把握できても、改善に向けた実効的な取組が難しい」との回答もあった。 一方、「実施しなかった」は41%であった。	8
		●		鶴岡	単位	⑥緊急時や災害時に備えた会員情報の把握	○住民情報の収集の必要性と活用方法を説明する機会と場づくり ○単位自治組織や広域コミュニティ組織、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、市等による住民情報収集活動に係る意見交換会や研修会の開催 ○市の避難行動要支援者個別支援計画等作成支援事業を活用した名簿の作成 ○個人情報の取得や取り扱いにかかる研修会等への参加	48	12	36	4	「実施し、効果があった」(48%)、「実施したが、効果が無かった」(12%)と6割を超えて、実施している。昨年の山形県沖地震の影響もあり、取組みが進んだことが伺えた。 一方、「実施しなかった」は36%であった。	9
			●	鶴岡	単位	⑦地域の魅力となる伝統芸能等への理解促進	○子どもの頃から伝統芸能や伝統行事への理解を促すような機会づくり ○開催日や運営形態等を工夫し若い人材の確保や参加しやすい環境づくり	32	8	52	8	「実施し、効果があった」(32%)、「実施したが、効果が無かった」(8%)と4割が実施している。 一方、52%は「実施しなかった」と回答している。	10
●	●	●		鶴岡	広域	①地域課題解決型運営の強化と単位自治組織の機能分担	○地域課題解決の取組に向け、幅広い年齢層や様々な立場の住民が参加するワークショップ等を通じ、広く住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○単位自治組織が行う諸事業へのサポート ○自主防災活動等の単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担に係る会議の開催	37	5	58	0	「実施し、効果があった」(37%)、「実施したが、効果が無かった」(5%)と4割が実施している。 一方、「実施しなかった」は58%であった。	18
●				鶴岡	広域	②将来を見据えた持続可能な組織づくり、魅力的な事業づくり	○各種団体の事務局や機能を広域コミュニティ組織に集約する、あるいは取り込んだ機能を見直す等、地区の現状に応じた組織の再構築 ○住民の声を反映した活動の優先順位付けや事業内容の見直し ○広域コミュニティ組織職員を対象とした各種研修会の開催	53	16	31	0	「実施し、効果があった」(53%)、「実施したが、効果が無かった」(16%)と7割が実施している。 一方、「実施しなかった」は31%であった。	19
			●	鶴岡	広域	③地域の課題解決やコミュニティ活動の輪を広げるためのコーディネート	○地域の困りごと相談とその課題解決に向けたコーディネート ○各種団体組織による組織連携に向けた情報交換会の開催 ○住民活動の場を広げるコーディネート ○コミュニティ広報紙の内容の充実による情報発信力の強化 ○地域で活躍できる人材育成のための研修の機会の充実	74	10	16	0	「実施し、効果があった」が74%と最も多かった。 一方、「実施したが、効果が無かった」は10%、「実施しなかった」は16%であった。	20

計画の柱※				地域	区別	地域課題	取組の例	アンケート調査から				報告書 頁番号	
I	II	III	IV					実施・ 効果有 (割合)	実施・ 効果無 (割合)	未実施 (割合)	無回答 (割合)		説明
		●	●	鶴岡	広域	④地域課題解決の手法として地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討	○コミュニティビジネスの取組に向けた検討	16	5	79	0	「実施しなかった」が79%と最も多かった。「実施し、効果があった」は16%、「実施したが、効果が無かった」は5%であった。	21
			●	鶴岡	広域	⑤地域の魅力を再発見し地域の子どもの郷土愛を育む環境づくり	○放課後子ども教室等を活用した、子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○出来る限り地域事情に配慮した学校運営の実践	63	5	32	0	「実施し、効果があった」が63%と最も多かった。一方、「実施したが、効果が無かった」は5%、「実施しなかった」は32%であった。	22
●		●	●	藤島	単位	①各世代の住民ニーズにあった活動に再構築	○子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○各世代が単位自治組織活動に参加しやすい雰囲気や場づくり ○単位自治組織の存在意義を確認し問題・課題を共有するワーキングや講演会等の開催 ○アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握	満足 20	やや満足 63	やや不満 15	不満 2	「満足」(20%)「やや満足」(63%)と8割を超えている。	30
●				藤島	単位	②財政運営と会費のあり方の検討	○会費収入に見合った事業運営に向けた住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し ○各種団体・組織の統合・再編の検討	満足 22	やや満足 59	やや不満 17	不満 2	「満足」(22%)「やや満足」(59%)と8割を超えている。	31
●				藤島	単位	③広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し	○従来行われてきた事業内容の再点検・見直し ○広域コミュニティ組織等と連携しての生涯学習事業の実施 ○多様な媒体を活用した事業周知、年齢層やライフステージを意識したPR活動	満足 15	やや満足 59	やや不満 26	不満 0	「満足」(15%)「やや満足」(59%)と8割近くになっている。一方、「やや不満」が26%で、より一層のリーダーシップを期待している町内会があった。	32
●	●	●		藤島	単位	④広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり	○自主防災組織の機能点検 ○有事を想定した防災訓練の実施 ○緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性、取り扱い方法、活用方法及び活用成果についての説明 ○地域住民の防犯意識の啓発活動 ○学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践	満足 15	やや満足 63	やや不満 22	不満 0	「満足」(15%)「やや満足」(63%)と8割近くになっている。一方、「やや不満」が22%で、自主防災会がうまく活動できていない町内会もあった。	33
●	●	●		藤島	単位	⑤高齢者を近隣の輪で支える体制を再構築	○高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討 ○単位自治組織と広域コミュニティ組織との機能・役割分担会議の開催	満足 11	やや満足 70	やや不満 15	不満 4	「満足」(11%)「やや満足」(70%)と8割を超えている。一方、「やや不満」が15%で、支援する人の資質向上などの問題があるとする町内会があった。	34
●		●		藤島	広域	①地区自治振興会の発足で新たな活動	○広域コミュニティ組織の意義と活動内容のPR ○各種団体・組織の統合・再編の検討 ○地域コミュニティの実態を把握するための調査の継続実施 ○住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討 ○地区担当職員による行政側の情報提供、地域課題の情報収集、解決に向けた取組支援 ○アンケートを活用してのコミュニティ活動に必要な住民情報や住民ニーズの収集・把握 ○ワークショップによる人材の掘り起しと住民ニーズの把握	満足 0	やや満足 80	やや不満 0	不満 20	「やや満足」(80%)と8割を超えている。一方、「不満」が20%で、住民ニーズの収集・把握をしきれていないと考えている自治振興会があった。	36
●				藤島	広域	②財政基盤の確立	○会費のあり方の検討 ○住民合意に基づく活動の優先順位付けや内容の見直し ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討	満足 0	やや満足 40	やや不満 40	不満 20	「やや満足」(40%)と「やや不満」(40%)が拮抗していた。市からの委託金や事業収入で事業を行っているが、それだけでは賅えないことがあるようだ。事業費の見直しを行っているがそれにも限界があり、一方、会費徴収には住民が大きな抵抗を持っており、町内会からの会費徴収については苦慮している自治振興会があった。	37
			●	藤島	広域	③地区内外の団体と連携強化	○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討 ○人材育成のための研修機会の充実(単位自治組織若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、コミセン職員研修会等) ○町内会長連絡協議会等地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との連絡調整会議の開催 ○広域コミュニティ組織連絡協議会の設立と組織間の情報共有・連携	満足 0	やや満足 60	やや不満 40	不満 0	「やや満足」(60%)となっていた。	38

計画の柱※				地域	区別	地域課題	取組の例	アンケート調査から				報告書 頁番号	
I	II	III	IV					実施・ 効果有 (割合)	実施・ 効果無 (割合)	未実施 (割合)	無回答 (割合)		説明
	●	●		藤島	広域	④福祉と防災で新たな役割を確立	○単位自治組織と広域コミュニティ組織、市による機能・役割分担会議の開催 ○単位自治組織と情報を共有する体制づくり ○学校、保護者、単位自治組織、広域コミュニティ組織、地域団体との連携による「見守り隊」活動の実践 ○関係団体等との協働による防災訓練の実施 ○高齢者の生活ニーズ(支援が必要な人と支援ができる人の情報収集、必要とされる支援内容の洗い出し、高齢者支援のボランティア体制の確立)への対応策の検討 ○高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手法として、コミュニティビジネスの取組に向けた検討	満足 20	やや満足 63	やや不満 15	不満 2	「やや不満」(60%)となった。	39
●				羽黒	単位	①集落規模の縮小と活動減少への対応	○広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築 ○住民自治組織の運営や事業内容の見直し ○近隣の単位自治組織との連携や統合の検討	21	10	69	0	「実施しなかった」が7割弱(69%)。現時点では必要ない、集落総会でその都度協議するとの意見が多かった。 一方「実施し、効果があった」(21%)、「実施したが、効果がなかった」(10%)と約3割は、対応を実施している。	42
●				羽黒	単位	②役員等の負担軽減と担い手の育成	○役員等の負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し ○役員を育成する仕組みづくり	29	4	67	0	「実施しなかった」が7割弱(67%)。役員選出を輪番制にしており特に支障がないとの意見が多かった。 一方「実施し、効果があった」(29%)、「実施したが、効果がなかった」(4%)と、約3割は実施している。	43
●		●		羽黒	単位	③子どもや若者の事業参加や活動の担い手を確保する環境の整備	○若者のリーダー育成講座や研修会の開催 ○若者が主体的に行う事業への支援 ○子どもや若者の地域における活動の拡大による意識付け ○活動内容や開催日の検討等伝統文化や行事が継承できるような環境づくり ○小中学校や高等教育機関、企業等への協力要請	27	17	56	0	「実施しなかった」が6割弱(56%)。 一方、「実施し、効果があった」(27%)と「実施したが、効果がなかった」(17%)と、4割は子どもや若者が参加しやすい事業企画等の環境整備を図っている。	44
	●			羽黒	単位	④福祉・防犯・防災等安全で安心な地域づくりの推進	○自主防災組織の機能点検と研修の開催 ○広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築 ○要支援者見守り体制の検討 ○他団体と連携した高齢者等交流・支援活動の実施	44	10	46	0	「実施しなかった」が5割弱(46%)。現状集落内での協力・確保で良い、隣近所付き合いがある等、「顔の見える関係」の構築が図られており支障ないとの理由が多かった。 一方、「実施し、効果があった」(44%)、「実施したが、効果がなかった」(10%)と半数以上(54%)は、取り組みを実施している。	45
●				羽黒	広域	①広域コミュニティ組織への理解と協力の促進	○広域コミュニティ組織の意義と活動内容のPR ○広域コミュニティ活動についての研修会の開催や情報交換 ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 ○各種助成金等活用方法の検討 ○会費制の導入の検討	100	0	0	0	全地区、「実施し、効果があった」と回答している。	52
●	●			羽黒	広域	②単位自治組織等との連携と役割分担及び人材の育成	○広域コミュニティ組織の単位自治組織への支援体制の構築 ○地区住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定 ○地域課題解決のための情報交換や話し合いの実施 ○人材の発掘や育成のための講座や研修会の開催 ○広域コミュニティ組織連絡協議会の設立と組織間の情報共有・連携 ○地域コミュニティに関わる団体・組織との交流や話し合いの実施	75	25	0	0	地域ビジョン策定した地区と策定中の地区は、「実施し、効果があった」と回答している。 「実施し、効果がなかった」と回答している地区は、区長をはじめ他団体の役員が単年交代や改選等により人材育成に至らないことが要因としている。	53
●		●		羽黒	広域	③若者に魅力ある地域、子育てしやすい地域づくり	○雇用の場の創出・農業環境の改善や就農者への支援 ○小学校と連携したコミュニティ活動の推進 ○子ども達の郷土愛を育む教育活動の実践 ○育児サークルや見守り隊等地域で子育てをする環境づくり ○コミュニティビジネスの取組に向けた検討 ○地域外から人材を呼び込むための検討	100	0	0	0	全地区「実施し、効果があった」と回答している。	54
	●			羽黒	広域	④防災拠点としての自主防災活動の推進	○情報伝達、情報収集方法の検討 ○避難訓練や防災研修等の実施 ○単位自治組織の自主防災会への働きかけや支援	75	25	0	0	全地区実施しており、3地区は「実施し、効果があった」と回答している。 一方「実施し、効果がなかった」と回答した1地区は、令和元年度羽黒地域の防災訓練を実施した反省として、地域の沿った災害想定と訓練内容とすべきだったとしている。	55
	●			羽黒	広域	⑤福祉・防犯体制の推進	○高齢者や要支援者の見守り支援体制の構築 ○防犯体制の見直しと強化	100	0	0	0	全地区「実施し、効果があった」と回答している。	56
●		●		楯引	単位	①広域コミュニティ組織の検討	○広域コミュニティ組織のあり方の検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施 ○単位自治組織の意見集約と区長会、自治公民館連絡協議会等との意見交換会の実施	5	0	0	95	「実施し、効果があった」(5%)、「実施しなかった」(95%)と9割を超えて、実施していない。	62

計画の柱※				地域	区別	地域課題	取組の例	アンケート調査から				報告書 頁番号	
I	II	III	IV					実施・ 効果有 (割合)	実施・ 効果無 (割合)	未実施 (割合)	無回答 (割合)		説明
●				楯引	単位	②住民自治組織等の理解促進と事業の見直し	○住民自治組織等の存在意義や役割等を共有する住民懇談会等の開催 ○一体感を醸成するための世代間交流事業の実践 ○住民自治組織ステップアップ事業補助金等、地域コミュニティの課題解決のための事業の活用 ○住民理解を促す総会資料の工夫や広報の検討 ○事業活動の見直しとともに適正な自治会費の検証 ○若者や女性の参画に向けた住民ニーズの把握	35	20	45	0	「実施し、効果があった」(35%)、「実施したが、効果がなかった」(20%)と5割を超え実施しているが、「実施しなかった」(45%)と半数近く実施していない。	63
●		●		楯引	単位	③婚活支援と後継者対策	○結婚を後押しする雰囲気づくりと子育てしやすい環境づくり ○つるおか婚シェルジュの周知と連携 ○単位自治組織等が企画立案して取り組む婚活イベントの実践 ○民俗芸能や伝統文化への理解促進と継承活動の支援 ○若者の参画のもと、農業生産組織との連携による農産物販売や環境美化活動等の実施	5	15	80	0	「実施し、効果があった」(5%)、「実施したが、効果がなかった」(15%)、「実施しなかった」(80%)となり、地区による取組みではなく行政による取組みを望む声が多い。	64
	●			楯引	単位	④安全・安心な地域の構築	○防災意識の高揚を図るための定期的な防災訓練や防災座談会の開催 ○自主防災組織の機能の点検と体制整備 ○消防団活動協力員の加入促進 ○見守り隊の機能の点検と体制整備 ○支援が必要な人と支援ができる人の情報収集とボランティア体制の確立	70	10	20	0	「実施し、効果があった」(70%)、「実施したが、効果がなかった」(10%)と8割が取組んでいる。一方「実施しなかった」(20%)との回答があったが、児童の見守り隊は継続して行われている。	65
●				朝日	単位	①単位自治組織の組織強化と活性化	○女性の登用や研修等によるリーダーの育成 ○広域コミュニティ組織と連携・協力による役員職務の負担軽減 ○各世代の住民が一堂に参加できる活動により、単位自治組織を身近に感じてもらえるような取組の実践	27	3	63	7	「実施し効果があつた」(27%)、「実施したが、効果がなかつた」(3%)と実施は3割にとどまっている。 一方、「実施しなかつた」(63%)で、6割を超えている。	72
●		●		朝日	単位	②住民による持続可能で魅力的な事業づくり	○伝統的な行事の復活等により、子ども達の郷土愛を育む地域教育活動の実践 ○変更可能なしきたりについて持続可能な形態への改善と、若い世代がしきたりを考え理解するための場づくり ○生涯学習活動において、広域コミュニティ組織と連携した事業	30	3	60	7	「実施し、効果があつた」(30%)、「実施したが、効果がなかつた」(3%)と実施したは、3割であつた。 一方、「実施しなかつた」(60%)で、6割が実施しなかつたと振り返っている。	73
	●			朝日	単位	③安全安心な地域づくりのための組織づくり	○広域コミュニティ組織と連携した防災活動の取組 ○社会福祉協議会等、他の団体と協力による見守り活動や情報共有の実践 ○単位自治組織内の消防団OBの調査・把握と消防団活動協力員への参加促進	36	10	47	7	「実施し、効果があつた」(36%)、「実施したが、効果がなかつた」(10%)と5割近くが実施している。 一方、「実施しなかつた」(47%)で、「実施した」と、「実施しなかつた」が半々となっている。	74
●				朝日	単位	④単位自治組織の財産管理や環境整備作業の見直し	○財産管理に伴う維持費や改築に係る費用等について朝日地域に不動産を残したまま転出した転出者等への協力要請 ○他組織との共同による作業分担の検討 ○長期的な財産修繕計画の策定	33	0	50	17	「実施し、効果があつた」(33%)、「実施したが、効果がなかつた」(0%)と約3割が見直しを実施した。 一方、「実施しなかつた」(50%)と5割は、実施していないと振り返っているが、「現状維持で作業が出来ている。」「共同作業等の活動は、年々減少させています。」という回答が、「実施した」とるか、「実施していない」とるか、受け止め方が、人によって違っているようである。	75
●				朝日	単位	⑤希薄化した連帯感の再構築	○若い世代が参加しやすい事業の仕組みづくり ○一体感を醸成するための世代間交流事業の実践 ○子ども会育成会との共催事業の開催	40	3	47	10	「実施し、効果があつた」(40%)、「実施したが、効果がなかつた」(3%)と約4割が実施している。 一方、「実施しなかつた」(47%)は、5割となっている。	76
●		●		朝日	広域	①住民理解促進と単位自治組織へのサポート体制機能の構築	○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容のPR ○単位自治組織で実施が困難となっている生涯学習活動等の事業への協力 ○各種団体の事務局を担うことによる単位自治組織が担う役割の負担軽減	67	0	33	0	「実施効果があつた」(67%)、「実施しなかつた」(33%)で6割強が実施している。	82
●				朝日	広域	②組織ごとの運営方法の検討	○運営方法の確立に向けた検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の開催	100	0	0	0	全地区が実施している。	83
●				朝日	広域	③新たな人材の確保に向けた検討	○人材育成のための研修機会の充実 ○女性や幅広い世代の人材を登用し、積極的に活動できる取組の実践 ○生涯学習推進員を中心とした事業の推進	33	67	0	0	全地域実施したが、「実施したが効果がなかつた」(67%)が6割強となっている。	84

計画の柱※				地域	区別	地域課題	取組の例	アンケート調査から				報告書 頁番号	
I	II	III	IV					実施・ 効果有 (割合)	実施・ 効果無 (割合)	未実施 (割合)	無回答 (割合)		説明
●		●		朝日	広域	④朝日地域全体の生涯学習事業の検討	○朝日地域自治振興会連絡協議会(広域コミュニティ組織の連合組織)が主体となって事業を実施できるような仕組みづくり ○朝日地域自治振興会連絡協議会への支援体制の構築 ○学校統廃合に伴いあさひ小学校の地域行事に対する窓口体制の構築	67	0	33	0	「実施し、効果があった」(67%)、「実施しなかった」(33%)で、6割強が実施している。 「実施しなかった」と回答している地域もあるが、実際の活動では、「いきいき大学の運営」「支え合い研修会」「地域学習塾」など朝日地域自治振興会連絡協議会の事業や、あさひ小学校への協力体制はできていると思われる。	85
●				温海	単位	①多様な人材の活用と役員等の負担軽減	○役員の負担軽減につながる効果的な組織体制の見直し ○各種団体の統合や組織の見直しによる、単位自治組織役員の負担軽減 ○若者や女性、高齢者の活躍の場の拡充	52	13	31	4	「実施し、効果があった」(52%)、「実施したが、効果がなかった」(13%)と6割を超えて、実施している。 一方、「実施しなかった」が31%あり、中には、「人材というより人が少ない」「今後役員になる世代の人口が少ない」という意見があった。	90
●				温海	単位	②単位自治組織の健全な財政運営に向けた検討	○住民合意に基づく会費収入に見合った事業運営の見直し ○コミュニティビジネスを含めた活動資金の確保策の検討 ○先進事例の研究や講習会等、単位自治組織運営に関する研修の実施 ○公民館類似施設整備に対する財政支援 ○有線放送設備及び新たな情報伝達の仕組みの研究・検討	65	4	22	9	「実施し、効果があった」(65%)、「実施したが、効果がなかった」(4%)と7割近く実施しており、各役員の手当の削減などを行い、各世帯の自治会費を軽減し事業を行っている。 一方、「実施しなかった」が22%あった。	91
●		●		温海	単位	③将来を見据えた単位自治組織のあり方の検討	○隣接する単位自治組織との情報交換や単位自治組織運営に対する相互協力、共同化の検討 ○地区自治会の今後のあり方の検討 ○単位自治組織と地区自治会との連携や機能・役割分担の検討 ○地区担当職員制度を活用した集落活性化懇談会等の取組による具体的な方策の検討	39	13	44	4	「実施し、効果があった」(39%)、「実施したが、効果がなかった」(13%)と5割を超えて、実施している。 一方、「実施しなかった」が44%あり「現状維持で良い」「自治会としての機能の維持は困難であるが、住民に現状を変えようとする意識がない」といった意見があった。	92
		●		温海	単位	④防犯・防災への対応	○自主防災組織の機能点検を行うと共に、避難訓練や有事に備えた住民同士の話し合いの機会や講習会の開催 ○有事に備えた住民情報の把握と活用方法の検討 ○有事の際の情報伝達システム確立のため、全単位自治組織への防災無線の配備と単位自治組織防災マニュアルの整備 ○津波に対する避難路の整備や津波ハザードマップを活用した避難訓練の実施 ○空き家の実態把握、所有者に対する適正管理の指導 ○空き家等に関する転出時の単位自治組織での取り決めの検討	69	9	22	0	「実施し、効果があった」(69%)、「実施したが、効果がなかった」(9%)と8割近くが実施している。 一方、「実施しなかった」が22%あった。	93
●			●	温海	単位	⑤次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり	○若者に魅力のある地域づくりのための活動支援やリーダーの育成 ○伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援 ○学校統廃後の小学校及び中学校と地域との連携及び地域活動の推進 ○地域理解を深めるための学習支援	48	4	48	0	「実施し、効果があった」(48%)、「実施したが、効果がなかった」(4%)と5割を超えて、実施している。 一方、「実施しなかった」が48%あり、そもそも地域に若者や子どもがいない等の課題がある。	94
●	●			温海	単位	⑥高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり	○高齢者が持つ知識や経験を活かした地域づくりの推進 ○健康寿命の延伸(介護予防・健康づくり)を主眼にした事業の推進 ○日常生活での見守り・支え合い体制の仕組みづくりと強化	48	13	39	0	「実施し、効果があった」(48%)、「実施したが、効果がなかった」(13%)と6割を超えて、実施している。 一方、「実施しなかった」が39%あり、老人クラブの解散等が問題視される。	95
●		●		温海	単位	⑦広域コミュニティのあり方の検討	○広域コミュニティ組織のあり方の検討 ○広域コミュニティ組織に係る研修会の実施	17	13	61	9	「実施し、効果があった」(17%)、「実施したが、効果がなかった」(13%)と3割となっており実施率が低かった。 一方、「実施しなかった」が61%あり、集落が点在するなどの地域事情により広域コミュニティ組織の検討には至っていない状況にある。	96